

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立東高根森林公園

指定管理者 : 横浜緑地・西武造園グループ

施設所管課(事務所名) : 横浜川崎治水事務所 川崎治水センター

(平成21年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	12月21日	月例報告、現地確認等
11月	12月10日	1月18日	月例報告、現地確認等
12月	1月8日	3月24日	月例報告、現地確認等
1月	2月9日	3月26日	月例報告、現地確認等
2月	3月8日	3月29日	月例報告、現地確認等
3月	4月9日	4月23日	月例報告、現地確認等

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

(賑わいのある公園づくり)

- 多様なニーズに対応したイベント開催により賑わいの公園づくりを提案した。
- QRコードを利用した自然解説システムの導入による詳細な情報提供を提案した。
- 竪穴式住居のレプリカモデルの展示を提案した。

<実施状況>

1. 多様なニーズに対応した様々な魅力あるイベントが多数開催された。(下半期は、34件の催し物を開催)

イベントの実施例としては、稲刈り体験会、収穫感謝祭、神木寄席、森のコンサート、そば打ち体験会、自然観察会、植物画教室、ガーデニング教室、健康体操体験会など。

2. 導入に向け、3月に現地で試験的に使用し、今後の本格運用に向けた準備が進められた。

3. パークセンター内に竪穴式住居のレプリカモデルを設置、3月に展示が開始された。

3 収支状況

(単位：千円)

	収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	50,160	44,100	0	6,060	50,160	0
上半期計 (a)	24,266	20,237	0 (0)	4,029 (3,429)	20,516	3,750
下半期計 (b)	25,971	23,863	0 (0)	2,108 (1,877)	25,342	629
10月	3,825	3,126	0	699 (688)	3,776	49
11月	4,417	3,576	0	841 (660)	4,314	103
12月	4,076	4,076	0	0 (0)	3,869	207
1月	3,824	3,824	0	0 (0)	3,788	36
2月	3,772	3,772	0	0 (0)	3,642	130
3月	6,057	5,489	0	568 (529)	5,953	104
合計 (a+b)	50,237	44,100	0 (0)	6,137 (5,306)	45,858	4,379

- 1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

下半期の収支については、ほぼ均衡していた。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		
支出の状況		

- 収入の状況: 定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況: 車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況: 積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	183,508人	174,247人	5.3%
下半期計 (b)	165,248人	167,094人	△1.1%
10月	32,701人	30,827人	6.1%
11月	34,899人	35,174人	△0.8%
12月	26,337人	21,732人	21.2%
1月	25,780人	24,182人	6.6%
2月	19,947人	26,463人	△24.6%
3月	25,584人	28,716人	△10.9%
合計 (a+b)	348,756人	341,341人	2.2%

利用状況に関する意見等

半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。

下半期の合計では、対前年比はほとんど変化がなかった。しかし、各月毎の利用者数を見ると12月に多く、2月3月に少なくなるという結果であった。

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	1	2	0	2	12	17
11月	1	1	0	1	14	17
12月	1	2	0	0	11	14
1月	2	1	0	0	14	17
2月	1	0	0	0	11	12
3月	3	0	0	0	12	15

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	1	1
1月	0	1	1
2月	0	0	0
3月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。

12月頃から公園利用者ではないと思われる駐車場利用が増えたため、本来の公園利用者が駐車場を使えないという苦情が入った。そこで指定管理者からの近隣工事現場へ申し入れや直接指導、看板設置など状況の改善に努めた結果、目的外の利用者が大幅に減った。

分野	概要	対応状況
施設・設備	・ドッグランを設置要望	公園の特性を考慮し、予定なしと回答
	・利用者以外の駐車場利用への苦情	近隣工事現場への申し入れ等を実施
職員対応	・イベント時の対応への不満	今後は、時間や集合場所等を調整
	・	
事業内容	・花ごよみのパンフレットを希望	作成を検討中
	・	
その他	・犬の放し飼いを罰して欲しい	関係機関と合同巡視、看板設置を実施
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	特になし
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日		特になし	
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	ありのままの自然が少なくなってきた今日、当公園はそれを持ち味にしている。するとそこに目を付けた人が集まってくる。ルール違反が増え、自然を求めてきた人との摩擦が生じる。この公園の持ち味であるそのままの自然を保つ管理をさらに進めるとともに、来園者へのルール遵守の働きかけが重要となってくる。
施設所管課	公園の利用者数は、下半期は前年度並みとなった。日常的な管理業務も概ね良好に実施され、アンケート結果を見ても満足度が高かったが、自由意見への個別の対応を充実させるなどさらなる向上が望まれる。 公園に対する多様なニーズに応えるため、様々なイベントが積極的に実施された他、新たな取り組みである竪穴式住居のレプリカ設置などは評価できる。ただしいくつかの新たな取り組み事項については、準備段階のものがあるため今後の着実な実施が望まれる。